



昔の人々の暮らしがわかる展示がたくさん



葛塚織の機織り機。これを使って実演が行われる。

問い合わせ
木崎保育園 386-1081
386-3155

横井の丘 ふるさと資料館 利用のしかた

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 閉館日 日曜・祝日
- 入館料 無料
- 利用のしかた
普段は鍵がかかっていますので、隣接する木崎保育園の窓口で観覧者名簿に記入の上、鍵を借りてお入りください。
※日曜・祝日も、事前に博物館にご予約いただいたグループは見学可能です。

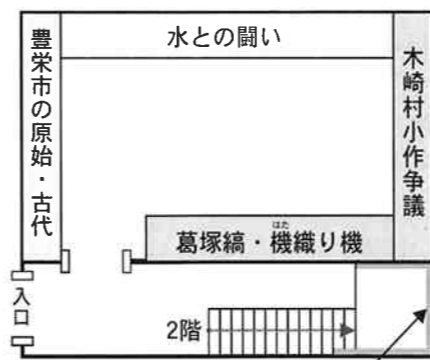
「横井の丘 ふるさと資料館」の建物は、平成14年3月に閉校した横井小学校の音楽室・理科室が改装され、再利用されています。

館内には、福島潟で実際に使われていた舟や漁具をはじめ、昔の農具や生活用品、旧横井小学校の写真などを展示。資料館としてよみがえった木造校舎とともに、貴重な歴史資料がもりだくさんです。

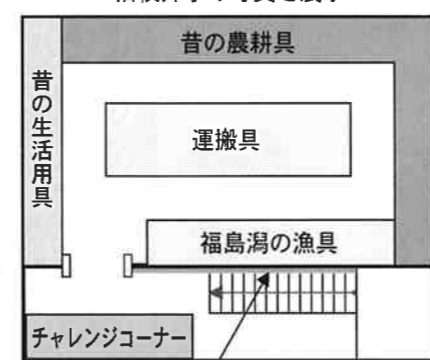
また、毎月第4土曜日の午後1時から4時まで、「葛塚織手織りの会」の皆さんによる機織りの実演が予定されています。

ふるさと学習や、地域のコミュニティ活動、教育の場としてぜひご利用ください。

館内には、貴重な歴史資料がたくさん！



1階 「豊栄市の歴史の概要」



2階 「昔の暮らし」

4月13日(火)、木崎保育園の隣に、「横井の丘 ふるさと資料館」がオープンしました。

館内は、昔の人々の生活がわかる道具や豊栄市の歴史に関する展示でいっぱい。歴史の学習に、憩いの場に、皆さんのお越しをお待ちしています。



舟や漁具・昔の農具に 旧横井小学校の写真などを展示



4月13日(火)、旧横井小学校で学んだみんなでテープカット

「豊かな日々のために。」

満開の桜と菜の花。春の陽の華やかな誘い(いざな)いに福島潟は終日にぎわった(4/11)。この日1日で1万2千人の人数という。始まって以来の記録でなろうか。片岡鶴太郎展(3/11~4/6)にも総勢7千人が訪れた。平成3年、福島潟の再生をかけた、「自然と文化の創造拠点・福島潟」としてリーディングプロジェクトを起した。そのときの苦労と責任の重さがようやく報われたとひそかに思う。

また、この日(4/11)改築なった葛塚中学校の一般公開を行う。予想を超えて1,500人の人々が続いた。

今思うこと

先立つ、入学式(4/5)で「良い建築物には設計した人の心、考え、思想がこもっています。それを感じられる人はそれだけ感受性のある心豊かな人なのです。私は皆さんからその建てた人の心を感じて、その期待にこたえて育てたいと願っています」とあいさつをし、建築家安藤忠雄と作家司馬遼太郎の話を引きながら「こうし



4月5日(月)、新葛塚中学校の入学式にて

「とよさか歴史散歩」第3版が完成!

豊栄の文化財・史跡のガイドブック「とよさか歴史散歩」が新しくなりました。

木崎村小作争議の舞台となった木崎無産農民学校跡などの史跡の説明を数多く収録。今回の第3版では、新たに葛塚遺跡から出土した土器や、幕末に新政府軍の一員として活躍した北辰隊の関係資料その他について加筆されています。

博物館にて1部800円(税込)で販売していますので、どうぞご利用ください。新潟市などとの合併の前に、市の歴史をもう一度見直してみませんか。



て、この学校が出来ました。この校舎は「たのしい君たち」を育て「はればれとした心、たかだかとした志」、ある葛中生を育ててくれることを信じ、この校舎を君たちに贈りたい」と結んだ。

私には休みがない。相変わらず、走り続けている。

「自民党地方税財政プロジェクトチーム」との懇談会があり、早朝上京をする(4/9)。「全国市長会は三位一体改革の廃止縮減すべき補助金を具体的に明示してきた。然(しか)るに各省庁の提出したものは、最もふさわしくないものから出してきた。また、順序

豊栄市長 小川 竹二

は先に税財源の移譲があつて、結果を見て、交付税の見直しがあるべきなのが、逆に交付税削減のみが突出、先行してきた。背信行為である。地方は厳しいことを予想して、合併等で対応している。どうせ水に投げ込むなら、せめて手足の縄をとけ、地方は自分の力で生きることが望んでいる」と言う。

翌日(4/10)は、自民党県議団と市長会、町村会共催で「地方税財政シンポジウム」。300人参加と関心が高い。全国市長会(4/13~14)でも「分権時代の都市自治体のあり方検討会」、「都市財政委員会」、パネルディスカッション「分権の理念に立った三位一体改革の実現」と立て続けの会合を開き、改革2年度へ向けて準備を始めた。